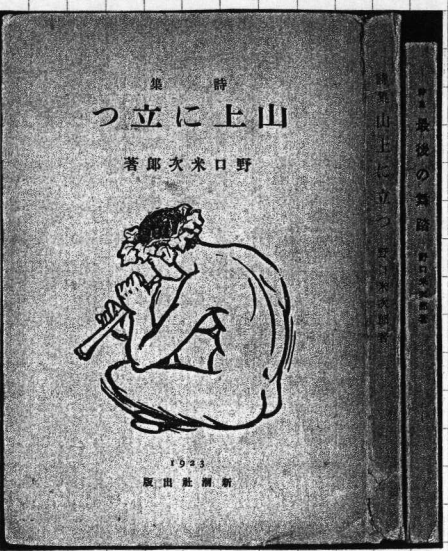
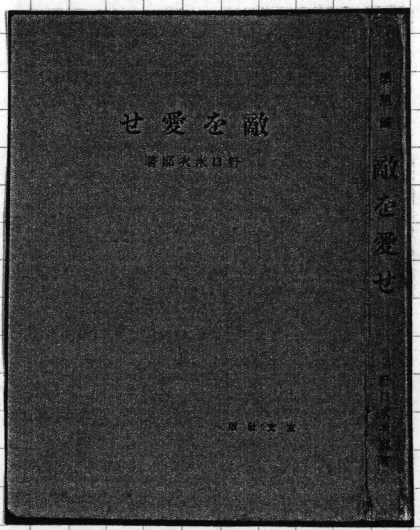




野口米次郎 のぐちやう 詩人、美術評論家。明治八年十一月八日愛知縣生  
 れ、昭和二十一年七月十二日没（六五—九四）。筆名ミホ、ノグチ、  
 無名氏、野口米、Miss. Morning Glory、YONE NOGUCHI等。慶應義塾中  
 退。明治二十六年アメリカに渡り、詩人J・ミラーの知遇を得て詩作、  
 詩集を出版して英米の詩壇に認められた。二十七年に歸國し、翌年慶  
 大教授。昭和十七年帝國藝術院賞受賞。彫刻家イサム・ノグチの父。  
 著書『蘭朝の日記』（明治二十七年十一月十九日春陽堂）、『JAPAN  
 OF SWORD AND LOVE（劍と戀の日本）』（YONE NOGUCHI著、JOAQUIN M-  
 TELLO合著、明治二十八年二月十日金尾文淵堂出版部）、『英米の  
 十二年』（明治二十八年五月十日春陽堂）、『THE SUMMER CLOUD（夏  
 雲）』（YONE NOGUCHI著、明治二十八年十一月十一日春陽堂）、『の  
 もの會評集』（同、合著・もの會、第一号もの會、明治二十九年  
 六月一日如山堂書店、第一号響旗堂四月十九日左右會書房）、『Y-  
 EN KIIGEN IN ENGLISH（狂言の巻）』（同、譯、四版、明治四十四年  
 八月十八日松葉堂書店）、『THE SPIRIT OF JAPANESE POETRY』（同、  
 1912. LONDON: JOHN MURRAY THE WISDOM OF THE EAST SERIES）、『タ  
 ンダラー・タンダラー詩社集』詩集』（合著・タンダラー詩社編、大正四年  
 二月十五日東雲堂書店）、『歐洲文壇印象記』（大正五年一月十五日  
 自由社出版部）、『大正浮世繪師』（大正八年八月十八日岩波書  
 店）、『日本の美術』（大正九年四月十日、再刊。  
 昭和十年七月二十七日大鏡閣）、詩集『沈黙の血汐』（  
 大正十一年五月）『自由新潮社』現代詩人叢書（）、  
 『野口米次郎詩論』（大正十一年七月十七日女子文洋詩歌部）、『感想録

『敵を愛せ』(大正十一年七月一日)  
 千八百五十七年文社出版部)、詩集『山上  
 の夢』(大正十一年一月二十日)  
 新潮社)、同『最後の舞踏』(大正  
 十一年四月二十五日金澤堂)、同『我  
 が手を見よ』(大正十一年五月一日  
 ヌルズ)、印象録『霧の倫敦』(大正十一年五月八日女子文社出版部)、



『ミネ・ノグチ著作集』(第一編は先  
 驅者の言葉』(大正十二年七月二十日、  
 第一編)『全る人間の評論』十四年五  
 月二十日改造社)、『ゆめ』(大  
 one Noguchi 名、合著。親佛文藝會  
 編、大正十二年七月二十日改造

社)、『野口米次郎ブックスレット』(第一編『甘蔗論』(大正十四年十  
 一月十日、第二編『米脱と抱』(第二編・十五年二月二十八日、第三  
 編『松の木の子』(十四年十一月十日、第四編『能楽の鑑賞』(十一月  
 十日、第五編『米國の學論』(同日、第六編『米珠と乾山』(十八日、第  
 七編『歌麿北齋廣重論』(十五年二月十五日、第八編『春信と清長』(一  
 月二十日、第九編『蕪村能句選評』第七版。六月一日、第十編『小  
 泉八雲傳』(内題『川泉八雲』(二月十日、第十四編『萬葉論』第七版。  
 六月一日、第十五編『袖衣の日本』(四月十五日、第十六編『詩の日本  
 贊』(五月十五日、第十七編『人生五十年』(二十日、第十八編『建前能  
 入論』(六月二十日、第十九編『眞の日本主義』(同日、第二十編『戀愛





庫」)、『沈黙の血汐』(昭和十年十一月)、『七日新瀨社  
「新潮文庫」)、『印度は語る』(昭和十一年五月十五日第一書房)。

エッセイ『われ日本人なり』(昭和十二年五月二十日新村書房)、『強

小力弱小力』(昭和十四年十一月)、『二十五日第一書房』、『EMPEROR S-

HOW AND THE SEASON』(聖武天皇と止倉院)、『全二冊』(YONE NOGUCHI

名、昭和十六年九月二十日教文館)、『官軍報告』(昭和十七年二月

十五日道統社)、『野口米次郎選集』全四卷(一)『藝術殿』(美術論

集)、『昭和十七年十一月二十日、二)『詩歌殿』(詩選詩集)、『十八年四

月二十日、三)『文藝殿』(文藝論集)、『九月二十日、四)『想思殿』(隨筆

集)、『十一月十五日春陽堂文庫出版株式會社)、『傳統の心』(昭

和十八年五月二十日牧書房)、『青春文化選書』(一)、『聖雄ガインジ』(昭

和十八年七月十五日潮文館)、『御糖われら』、『青年朗吟詩集』(合

著・詩人同志會編、昭和十八年八月十五日旺文社)、『詩集』(八松頌一

百篇)、『昭和十九年六月二十日富士房、富士房創設事務所)、『ア

ツクレット』(2)、『小京八雲傳』(昭和二十一年八月五日、6)、『光琳抱

一論』(二十二年二月十五日、8)、『能楽の鑑賞』(二十五日、9)、『芭蕉禮

讃』(九月十五日京都・富書店)、『野口米次郎定本詩集』(2)、『第一

表兼抒情詩』(昭和二十二年七月二十日、3)、『印度詩集』(五月二十日友

友社)、『詞華集』(人體頌歌)、『合著・恩地孝四郎編、昭和二十二年八

月二十日富田本社)、『浮世繪研究叢書』(1)、『春信』(昭和二十二年八

月二十日京都・京都印書館)、『野口米次郎隨筆叢書』(第一編)、『台紙

傳斷草』(昭和二十二年八月二十日)、『葉書店)、『日本詩人全集』12

野口米次郎・川路柳堂  
子家元麿・佐藤惣之助  
(金子光晴  
村野四郎編、昭和四十四年一月二十日新潮  
屋崎喜八)

社) / COLLECTED ENGLISH LETTER (詩人カネ・ノグチ書簡集) 山(澤  
美郁)編著、昭和五十年二月二十日造形美術協会出版局) 等。

文獻、シニシタード・ヅターノシナ著、詩人野口米次郎山(天正十四年

十一月五日第一書房) / SHUNSUKE KAMEI / YO NE NOGUCHI AN ENGLI-

SH POET OF JAPAN 山(1960. THE YONE NOGUCHI SOCIETY) / 外山卯三郎

編著、詩人カネ・ノグチの詩(その)日本語の成る(成る)所(所)の(研究) 山(昭和四十二年十一月二十日造形美術協会出版局) 等。